

フィールドスタティ（地域再生）体験レポート

公共経営大学院

潘笑来

1. プログラムの実施スケジュール

2017年春学期の「フィールドスタティ（地域再生・実習）」のスケジュールは以下の通りです。

日程	第1回目の現地調査			第2回目の現地調査		
	第1日目	第2日目	第3日目	第1日目	第2日目	第3日目
午前	現地集合	ふるさと 情報館見学	移住相談員 との 意見交換会	現地集合	各グループ 自由計画	そば打ち 体験
午後	山梨県 地 域創生・人口 対策課によ る現状説明	武川地域委 員会との 意見交換会	山梨名醸 「七賢」見学	各グループ 自由計画	各グループ 自由計画	関係施設 見学
夜	市長らとの 意見交換会	休憩	東京に戻る	各グループ 自由計画	各グループ 自由計画	東京に戻る

2. プログラム内容要約・取り組む課題

2017年春学期の「フィールドスタティ（地域再生）」では、山梨県北杜市との連携に基づき、地域再生についての提言を行いました。北杜市は、多種多様な価値観を有する移住者と地元住民との連携が十分ではなく、新旧住民が交流できるコミュニティーが欠けているという課題を抱えています。この課題解決の為、大学で必要な基礎知識と方法論の講義を受けた後、現地調査を目的とした実習を行いました。第一回目は受講生全員で、第二回目は、受講生が二つの

グループに分かれ、それぞれのグループ討論に基づき、自らスケジュールを決めて現地調査を行いました。最終回の講義（7月27日）では、各グループが北杜市の代表の方々に対し政策提言を行いました。また北杜市の代表の方々からも意見を頂戴しました。そこで頂いた意見を参考に政策提言の修正を行い、10月に実施される北杜市市政発表会で発表します。

3. 参加して得た成果・感想

このプログラムを通じて、日本の地域が抱える課題を発見し解決策を考えたことは、中国人留学生（である私）にとってとても貴重な経験になりました。近年の中国は急速な発展と引きかえに、様々な社会問題を抱えています。現在の中国が抱える課題および今後発生しうる課題を解決する上で、今回のプログラムでの経験がとても参考になると考えます。

2泊3日で第2回にわたる現地調査では、北杜市の市長さんを始めとする地域委員会の方々や現地住民の皆様と直接交流することができました。地域の方からの生の声を伺うことにより、地域の実態をより身近に感じることができました。今回のプログラムに参加した日本人（北杜市公務員2名を含む）と中国人学生が協力し、討論を重ね、政策提言をするという過程がとても楽しかったです。日本での留学中で一番有意義な体験になりました。

4. プログラムのおすすめポイント

北杜市はここ3年連続、希望移住先ランキング第1位に輝く地方都市です。この地の魅力を見つけられることは、このプログラムのおすすめポイントだと思います。美しい山々や美味しい水などの自然に恵まれ、充実した育児支援政策、空家バンク制度等を導入している北杜市は、少子高齢化や地方の過疎化という日本全体としての課題を解決する上でとても参考になると思います。「山紫水明」の北杜市は、私のふるさとである中国の雲南省に似ている点が多く、親近感を感じました。異国の風土人情を体験し、他の受講生と共にプログラムを実施できた経験は、一生忘れられない思い出になりました。



(第1日目午後) 山梨県地域創生・人口対策課による現状説明会



(第3日目午後) Bグループ保育支援施設見学



(第3日目午前) 蕎麦打ち体験



参加者記念撮影